

蓄されており、2～3週間は持つ見込みです。

■非常用発電設備など
高圧線が近くにあるため、進入角度の関係からヘリポートは設置できなかつたそうですが、屋上には自家発電設備や太陽光パネルにより安定した電源が確保できるように工夫されています。

蓄されており、2～3週間は持つ見込みです。



防災館が設置されています。救急活動や消火活動に関する展示コーナーや視聴覚コーナーもあります。そして、映像を見な



■防災館の設置
防災館が設置されています。ここでは、誰でも気軽に防災について学べるようになっていました。



ボタンを押してランプを点灯させることも体験できます。

がら行う消火訓練や119番通報の体験もできます。さらに展示されています。消防車への乗車体験もできますが、子どもを対象に消防服を試着できるなど、さまざまな企画を考えているそうです。

防災館は、月曜日（祝日の時は翌日）と年末年始が休館です。10人以上で見学を行いたい場合は事前に連絡が必要となります。また、10人未満なら自由に見学できます。

【開館時間】

午前9時～午後4時30分

取材を終えて

8月1日の運用を前に引つ越し作業や設備の設置等、忙しい中、見学させていただきました。

東日本大震災を教訓にして設計された建物は、とても広々として、工夫が凝らされていました。

平成24年中の入間東部地区の救急車の出動件数が凝らされました。

■取材協力

入間東部地区消防組合消



防災館の見学に関するお問い合わせは
入間東部地区消防組合消防本部
TEL 049-261-6659 (警防課)

消防本部・消防署が新しくなりました

新庁舎は、鉄筋コンクリート造り・地上4階建の建物で、3階部には入間東部地区消防組合消防本部が、2階部にはこれまでの中央消防署と大井分署が統合されてできた西消防署（東武東上線の西侧を管轄する）が入っています。

所在地 ふじみ野市大井中央1丁目1番19号
階層・用途
1階 1462.33m²
(車庫・署事務室・防災館)
2階 1445.21m²
(隊員事務室・屋内訓練場・食堂・仮眠室)

新庁舎の概要

3階 1356.10m²
(本部事務室・会議室・書庫)

4階 1363.11m²
(指揮統制課・作戦室・講堂等)

敷地面積 4999.71m²

延床面積 5655.59m²

建築面積 1647.66m²

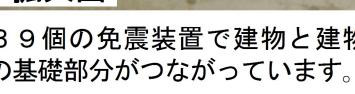
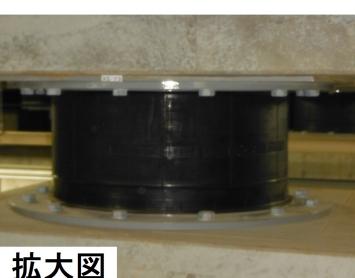
■新庁舎の特徴

■免震構造

新庁舎は大きな地震にも耐えられる免震構造を採用しています。写真は地震の揺れを軽減させる「積層ゴム」といわれるもので

■高機能消防指令装置

最新の119番受信指令システムを採用しています。指令台の設置風景。ここで119番通報を受け、現場への指揮を行います。9人3班体制。



39個の免震装置で建物と建物の基礎部分がつながっています。

ます。多くの情報が組み入れられたことで、より迅速かつ適切な消防活動が期待されます。

■消防訓練場・訓練塔

高さ16m以上の訓練塔。暗闇の迷路の中での救助訓練や放水訓練など、さまざまな訓練が可能で

ます。災害時に消防車両の燃料を安定的に供給する給油設備が設けられています。ガソリンは3000トック、軽油は2000トック備



館を併設した施設として、旧大井総合支所の敷地の半分を譲り受け新築移転しました。どのような施設なのか取材させていただき、防災館も体験してきましたので紹介します。
(担当／新井博海、三塚好江、新井紀子、三瓶雅人、加藤和代、武井香代子)